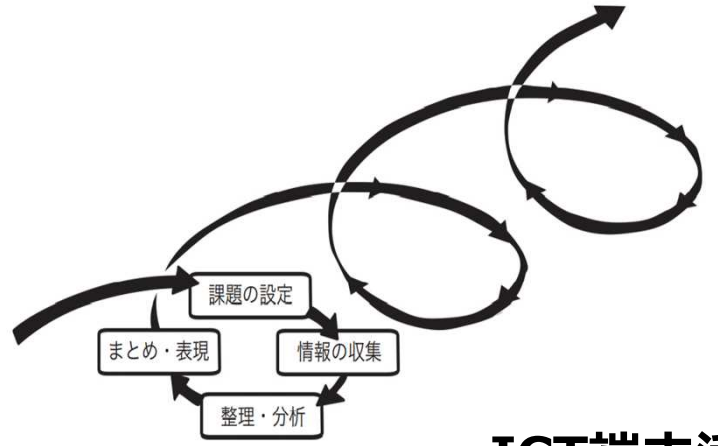


活動のねらい

地域には、海・山・川の自然を生かして生産される特産品が存在し、それらを生かした町づくりが進められていることから、それらの食材を使って、「ふるさと駅弁」を作り、そのPR内容や方法を考え発信することで、地域の活性化に取り組もうとする。



ICT端末活用のポイント（まとめ・表現）

校内のみならず、国内外への多様な発信、手軽な制作と加工の繰り返し、成果物の継続的な蓄積が可能

例えば、プレゼンテーションやビデオレター、ウェブサイトによる発信、チャットボットを活用した案内アプリの作成など、情報を再構成し、自分自身の考えを幅広く伝えその効果を検証して、課題意識が連続発展していくことが考えられる。ICT端末で手軽に加工を繰り返したり、学習の成果物を継続的に集積したりしていくことも可能となる。

事例の概要

本事例は、ICT端末を活用してウェブページを作成することで、ふるさと駅弁のよさや価値をPRする。作成したウェブページについて、ウェブ会議ソフトを活用して市職員からアドバイスをもらうなどして、よりよいウェブページにしていく。また、駅弁を食べた感想を聞くことは、時間的な制約があることから、ICT端末のアンケート機能を活用する。これにより、ふるさと駅弁のよさや価値を発信することや、その手応えを把握することについて、場や時間の制約が軽減され、新たな学びが実現される。

ふるさと駅弁を作ろう。

駅弁を作るための情報を収集する。

試食の意見を分析する。

ふるさと駅弁をPRする。

小学校・第6学年・総合的な学習の時間・「ふるさと弁当プロジェクト」②

～ICT端末を使って、ふるさと駅弁のよさを発信するとともに手応えをつかむ～

【ウェブページの作成】



【ウェブ会議ソフトの活用】



【アンケート機能の活用】



【ICT端末の活用のメリット】

- ウェブページの作成により、同級生や地域の人々、他の学校の児童に情報を発信できる。目的に応じ、受け手の状況を踏まえた情報発信を行おうとする、情報発信者としての意識の高まりが期待できる。
- ウェブ会議ソフトを活用し、市観光課や広報課職員と話し合い、ふるさと駅弁を市のホームページで紹介するための手順や決まり事を聞いたり、PRしたい内容が明確になっているウェブページとなっているのかを助言してもらったりする。
- アンケート機能の活用により、発信した情報に対する返信や反応が得られる。それを基にして改善したり発展させたりすることができる。

【ICT端末の活用についての配慮事項】

- ウェブページの作成において、他者の作成した情報を参考にしたり引用したりする際は、情報の作成者の権利を尊重し、引用した情報であることが分かるように転載し、出典を明記することが必要である。
- ウェブ会議ソフトを活用した話し合いでは、対面で話し合う価値や意義も踏まえながら実施する。

○ 活用したソフトや機能：ウェブページ作成、学習支援ソフトのアンケート機能、ウェブ会議ソフト